

名古屋陵水

支部長あいさつ



片岡嘉幸氏 (大25)

3年続いたマスク生活からようやく解放されつつありますが、皆様は如何お過ごしでしょうか。2ヶ月後の6月24日(土)に開催する支部総会では、少しお酒も飲める環境になってほしいと願っております。講演に講師としてお招きする予定の澤田太郎(大31)さんは大丸松坂屋の社長です。コロナ禍を乗り越えた新しい時代に挑戦する流通業トップのお話が楽しみです。昨年2月にロシア・ウクライナ戦争が勃発しました。「疫病」と「戦争」が人類の2大「天敵」であったことを今、我々は実体験しています。21世紀になっても戦争が起きると思っても奇りませんでした。世界大

戦にならないよう英知を結集してほしいものです。



彦根高商創立百周年
<https://www.econ.shiga-u.ac.jp/ryosui/ryousukai100zigyou/>

さて、陵水会100周年を迎えました。11月4日(土)の記念式典は、大学の「滋大祭」と同時開催であり、大学や彦根市民と一体となつて100周年を祝うことになり。8月ごろからスタートする彦根市民向け講座などの様々なイベントの計画があり、その内容は支部総会の時には案内できると思いますので、支部総会にご出席いただければと思います。そして11月には彦根にお集まりいただきたい100周年事業を盛り上げましょう。登録有形文化財である講堂及び陵水会館は、外観は変わっていま

発行所
 陵水会名古屋支部
 〒467-0043
 愛知県名古屋市瑞穂区岳見町1-13
 税理士法人表野会計(表野宏和方)
 TEL 052-832-2049
 発行責任者 片岡嘉幸(大25)
 印刷所 (株)山菊
 ☎052-731-1525(代)



耐震工事後の講堂と陵水会館

んが、内側が大きく変容しております、ぜひご覧になっていただきたいと思ひます。

最後にありますが、名古屋支部メルマガ会員、名古屋支部公式ライン登録会員を募集しています。大学や陵水会の最新情報をお届けできると思います。よろしくお願ひいたします。



名古屋支部公式LINE

2022年度 名古屋支部総会開催

2022年6月25日(土)

2022年の名古屋支部総会は、6月25日(土) 11時よりホテルプラ王山2F「飛翔の間」にて開催されました。参加者は71名。総合同会より開会宣言されると、塚本浩三幹事長(大30)の議事進行で「陵水会名古屋支部総会」が始まりました。

【名古屋支部総会】
 まずは「物故者への黙祷」が捧げられました。41名(陵水会年報の2021年号に掲載された方、2022年号に掲載準備中の方)のお名前は、会場入口に掲示されていきました。

次の「支部長挨拶」では、片岡嘉幸支部長(大25)が「ご来

場へのお礼」「ご来賓への感謝」や「コロナ禍ではあるが学生交流会だけは再開したいこと」「NextRyosuiの紹介」「大学で『彦根高商100周年推進委員会』が立ち上がったこと」等々を語られました。

続いて「来賓紹介」が済むと、滋賀大学学長・竹村彰通氏より「学長挨拶」として、4月1日に学長就任したこと(任期4年)に続き、母校の近況をお話いただきました。

議事に入ると、「令和3年度収支報告書(案)」が表野宏和会計幹事(大29)より、監査報告を山内佳紀監事(大23)より報





告され、承認されました。次に、「支部役員改選」が片岡支部長より提案され、承認されました。

○退任役員
小田切純子（大23・副幹事長）、山内佳紀（大23・監事）、米澤正治（大25・副支部長）。

○新任役員
米澤正治（大25・監事）、久岡賢治（大66・副幹事長）。

※他の役員は留任。

報告事項では、「令和3年度支部活動報告」が塚本幹事長より、「令和4年度収支予算案の報告（案）」を表野会計幹事より発表されました。

幹事長より閉会の言葉が発表され、支部総会が終了すると、次は昼食会。総合司会より、全員一旦退席の案内がありました。新型コロナウイルス対策もあり、例年の進行（支部総会→講演会→懇親会）とは違う運営でした。



【食事会】
会場に戻り、食事会開会の言葉が発せられるとまず最初に、陵水会・山田督理理事長（大19）より来賓挨拶をいただきました。陵水会への支援の御礼に続き、100周年事業等についてお話しいただきました。

引き続きの恒例の乾杯は、ノンアルコール開催のため割愛。これから彦根高商創立100周年のプレ企画のクイズを行うが、成績優秀なテーブルには（株）ヤマ伍三矢商店「三矢誠（大25）」様よりご提供いただいた景品があることを総合司会から発表。三矢誠氏（大25）からも一言ご挨拶いただきました。

・株式会社ヤマ伍三矢商店
・愛知県西尾市一色町治明大戸前10番地
・本紙の突撃インタビュー
第2弾に三矢氏の記事あり

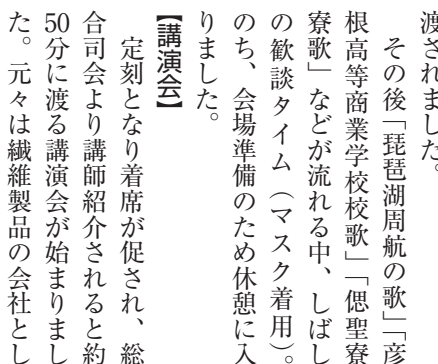


【100周年プレ企画クイズ】
会食の合図のあと、総合司会よりクイズ出題者が紹介され、出題者の進行で「100周年プレ企画」を開始。次の要領で進めることが発表されました。

クイズは全部で4問。すべて4択。テーブルごとで答えをお考えください。※話をする時は、マスク着用にご協力お願いします。（現在の滋賀大学彦根キャンパスを映した）映像を途中止めながらクイズを出題します。

〓問題1〓
講堂で講演を行ったことのある人物は誰と誰？
A 新渡戸稲造、B 太田裕美、C 西川貴教、D ヘレンケラー

〓問題2〓
特に心に残る食堂・喫茶店・居酒屋は？という質問に対して、多かった回答を世代ごとに挙げた。



※多い順ではありません
どの年代にも親しまれた店名は？
A ござれ、B ござらん、C ござろう、D ござる

〓問題3〓
次の中で最も早く設置された支部は？
A 彦根支部、B ニューヨーク支部、C 名古屋支部、D タイ国支部

〓問題4〓
ある建物の設計図の一部です。その建物とは？
A 陵水会館、B 講堂、C 偲聖寮、D 図書館

答え：問題1〓AとD、問題2 4〓A
〓A、問題3〓C、問題4〓A

クイズが終わると結果発表があり、株式会社ヤマ伍三矢商店様より協賛いただいた景品が手渡されました。

その後「琵琶湖周航の歌」「彦根高等商業学校校歌」「偲聖寮寮歌」などが流れる中、しばしの歓談タイム（マスク着用）。のち、会場準備のため休憩に入りました。



【閉会】
「それでは最後に」と総合司会から告げられ、荒木俊雄副支部長（大29）より閉会の挨拶。来場の皆様、来賓の皆様、講演会講師への御礼を述べられ、本日参加の現役真っ最中の方に対しては「本日の講演は先輩からのエールと思ひ、陵水の精神を忘れずに頑張ってください」。それから「来年は彦根高商創立100周年、その4年後に名古屋支部も100周年を迎えることを、クイズから理解しました」と結びました。

てスタートした会社が、戦後の発展を経て企業風土改革を進め、企業理念として「社会のニーズを理解し、事業活動を通して社会に貢献する」という姿に変貌してきた様子を、具体例や個人的体験を交えてお話しいただきました。



ばれました。

それから本日の最後として、34・35回生が壇上に並んで引き継ぎの挨拶。代表して丹羽宏和(大34)氏より、「5月の終わりの役員会で本日の開催要領が最終決定され、それから参加予定者へ連絡したこと」「欠席者がでることなく開催できたこと」への説明、御礼と感謝が。続いて、山崎博己(大35)氏より来年会より閉会が宣言されました。

会場でお会いした皆様、ありがとうございました！まだ例年通りの開催とはなりませんでしたが、久しぶりにお会いできて楽しい一日でした。34回生の皆さん、一年間お疲れ様でした。総合同会は千喜良博(大34)氏でした、お疲れ様でした。

来年2023年度名古屋支部



総会は、次のように開催が決まっております。

【日時】2023年6月24日(土)

11時半より

【会場】HOTEL ルブラ王山 (以上予定)

次の全文は、名古屋支部ホームページからご覧下さい。

「支部長挨拶」全文、「学長挨拶」要旨全文、「理事長挨拶」要旨全文、「100周年プレ企画クイズ」全文、「日清紡って何の会社」講演をお聴きして」全文。総会まとめ 田横井隆幸(大33) 【総会を終えて】

2022年度名古屋支部総会は、コロナ下の中、76名(ご来賓含む)のご参加をいただきました。開催2週間前に急遽アルコール提供中止をご案内したにも関わらず、欠席者無く当日を迎えることができました。会場へお越しいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

開催にあたっては、コロナ下の中、どの程度の参加者が見込めるのか、合唱の取り止め、イベントへの学生参加制限等ある中、懇親会をどのように成立させるかで苦慮。食事についてもテーブルあたりの人数制限と提供方式の制限から、採算面で成立するかについても不透明な状態でありました。都度、33回生の皆さんや総会部会の方々のご指

導・ご判断を仰ぎながら、紆余曲折しつつ、なんとか開催にたどり着くことができた次第です。

今回の懇親会でのイベント

は、コロナ下でも楽しめるイベントができないかと幹事一同悩んだ挙げ句、彦根高商100周年の編纂事業に携っていた今井さんのお力を借りてクイズ大会を実施することとなりました。コンテンツを今井さんに準備いただきつつ、打合せを重ね、会場確認、機器等の準備を進めて参りました。閉会後のお声聞き限り、ご評価をいただけたかと。ひとえに今井さんのおかげです。ありがとうございました。

また、「懇親会」は、アルコール無であったので「食事会」と名を変え、講演会をトリに回し、村上様(大30)にご講演賜りました。非常にリアリティのあるお話の連続であり、現役の方々には、「生のリーダーシップ論」をお聴きいただけたのではないのでしょうか。

最後に。今回は例年の3分の1程度の参加者ではありませんが昭和20年卒の大先輩から令和3年卒の後輩まで老若男女の皆様にご参加いただきました。諸事情により、今までと趣を変えた今回の総会となりましたが、いかがでしたでしょうか。100周年を祝う次年度の総会に向け

て皆様のご意見ご感想を支部宛に頂戴いただけると幸いです。よろしくお願いたします。

田丹羽宏和(大34)

【講演をお聴きして】

講師 日清紡ホールディングス株式会社 代表取締役社長 村上雅洋(大30)氏。大学30回卒、進藤ゼミ、ハンドボール部。1982年に入社、2008年に執行役員になられて以降、経歴を積み重ねられ、2016年には代表取締役専務執行役員。2018年に代表取締役副社長、そして2019年3月に代表取締役社長に就任され現在に至る。

・演題 「日清紡って何の会社?」事業変革の道程」
・講演全体として「変革」と「企業としての社会貢献」という言葉がキーワードと感じましたが、決して変革それ自体が目的ではなく、なぜ変えるのか、変わったらどうなるのか、そのビジョンを示し、社会のために、そして社員のために、トッポとしてその思いを浸透させることに全力を傾けている社長さんの思いが印象的でした。

田千喜良博(大34・院15)

第22回陵水金鯢懇話会

陵水亭懇話会が2023年2月から陵水金鯢懇話会へ改名しました。2022年8月以降コロナ禍により中断していましたが、久しぶりの開催となりました。2023年2月4日(土)の参加者は15名。

講師は、佐藤芳郎氏(大45・有馬ゼミ、ヨット部)。東海銀行へ入行、三菱UFJ銀行在職中に、2010年に名古屋商科大学院ビジネススクールを修了。現在も同大学院で臨時講師を務められています。現在は、中部電力勤務。

さて、テーマは「第4次産業革命時代とは何なのか?ポスト資本主義なのか?」。金融とエネルギーの切り口から考察したものでした。

「G」やAIなどの新たに進化したテクノロジーを活用したデジタル系商品やサービスが登場し、これらの変化を『第4次産業革命』といわれている。しかし、革命が起こっているのは産業面だけではなく、消費者主導型の市場構造へ変化するなど、経済社会面でも起こっている。コロナ禍により、その変化がさらに進んでいる。マーケットがマス(大規模集中)からP2P(個対個・小口分散)へ変容し



つつある。

金融面でも類似の変化が起こっている。ブロックチェーンという新たなテクノロジーの進化により、仮想通貨などが登場。これらの変化を「Web3.0」といわれているが、この世界観も「分権・自律」の思想がもとになっている。法制度面の整備も進められており、「中央集権型 (Web2.0)」から「分権・自律 (Web3.0)」へ変容が進むと思われる。

エネルギー面でも類似の変化が起こっている。カーボンニュートラル (2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてネットゼロを目指す) には、その変化を促す側面がある。その達成のためには、エネルギー消費の大幅削減およびエネルギーの電化、再生エネルギーの積極利用が求められる。その世界観は、従来の大規模集中型電源 (火力、原子力等) への依存を下げ、地域ごとにその特性に適合した分散型電源 (水力、風力、太陽光など) を確保し、個人レベルでも太陽光発電を確保し、電気の需給管理 (電気の地産地消) をするもの。自律性が求められる。これらの変化を俯瞰すると、「分権・分散・自律」といった共通キーワードが見えてきたもの。今後はどのような社会に向かっていくのか? これら共通



キーワードの言葉がもたらす価値観に沿って変容していくのだろうか?

【雑感】

今回のテーマは、大きなテーマであるため、すぐには結論が出ません。しかし、過去と現在を分析し、未来を想像するという気づきのきっかけになりました。キャリアアップ、セカンドキャリア、リカレント教育、メンター、これからの働き方に、これらのキーワードはとても重要です。デジタルの時代を生き抜くための方法は、正解は1つではなく、複数あります。陵水会というOB会は、気づきや学びの場として、また、仲間づくりの場として若い方を応援し、また若い方からも応援いただきます。みなさんの参加をお待ちしております。

内田 誠 (大31)

第10回現役生&OB交流会

2022年12月11日 (日) に「第10回現役・OB交流会」を開催しました。現役生の参加人数は13名、OB・OGは製造業、金融、商社、その他の業種から14名にご協力いただきました。

【日時】2022年12月11日 (日) 13:00~17:00

【会場】ウイंकあいち10F 1002号室

【参加者】27名

【交流会を終えて】

コロナ禍もあり、対面での開催は3年ぶりとなりました。現役生は話を聞きたいOB・OGのところへ行き、事前に用意してきた質問などをする要領で進行了ました。就職活動が早期化



していることや、希望企業 (や業界、業種) に勤める大学OB・OGと直接話せることで、現役生も多くの質問をしていました。「現役生」と「話をしたいOB・OG」との間を持つスタッフも有効に活動し、最後まで熱心に話をしてる姿を見ることが出来ました。

日曜日の昼間にも関わらず、大変多くのOB・OGにご参加いただきました。誠に有難うございました。OB・OG全員が、現役生の心強い応援団であることを改めて実感し、感謝の念に耐えられません。今後も、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

久岡賢治 (大66・学生部会)

突撃インタビュー

【広報部企画取材】

会報に広告掲載頂いた方々の人物紹介記事を名古屋支部ホームページに掲載させていただきます。メルマガにて告知する企画。質問事項

①大学までの生い立ちを教え

海老せんべい製造卸・小売・各国産乾海苔問屋

株式会社 ヤマ伍三矢商店

代表取締役 三矢 誠 (大25回)

〒444-0426 愛知県西尾市一色町治明大戸前10
TEL (0563)72-8117
FAX (0563)72-3322
E-mail yamago@katch.ne.jp
https://www.yamago328.com/

公認会計士 山内佳紀事務所

公認会計士・税理士 山内佳紀 (大23回営)

〒466-0807 名古屋市昭和区山花町94-4
TEL 052-761-1386 FAX 052-761-1869
E-mail:info@cpa-yamauchi.com

て下さい。②部活時代のことから社会人になって影響したことはありますか？③大学卒業後はどのような人生を歩まれてこられたのですか？④人生を振り返ったような人生でしたか？⑤これから社会へ出る滋賀大生へのメッセージをお願いします？
⑥今後はどうされますか？

【第一弾】

山内佳紀(大23・グリーククラブ・森俊治ゼミ)氏
今も現役の公認会計士として活躍されている山内さんを紹介する。

①Aもともと実家は名古屋市内の池の仲田で楽器店を営んでおり、自身の生まれは中区で、小学校5年で昭和区山花町へ引っ越してきた。小学校は川原小学校、中学は川名中学、高校は向陽高校へ進んだ。

1971年滋賀大学経済学部経営学科入学。当時は一学年220人だった。最初は軟式テニス部とグリーククラブに入ったが、軟式テニス部の方は1年で止めてしまった。グリーククラブの部員は全30名くらいだった。3回生の時にはテナーのパートナーリーダーをやった。

②Aクラブ活動自体は自分の社会人人生にはあまり影響してい

ないが、学生時代のつながりでグリーククラブ同期の人の会社の監査役を引き受けることになったこと。

③A大学卒業後は東京の会計専門学校へ入り、2年間通った。かなり勉強した。その後公認会計士の2次試験に合格し、東京の個人の会計事務所へ入った。そこで2年経験し、その後名古屋の大手会計事務所へ入った。その後、独立した。主な業務としては監査法人時代での監査業務、独立開業後は税理士として中小企業の税務相談業務等を行ってきた。

大学卒業後公認会計士を目指した理由は大学時代から会計と簿記が好きだったから。最近では徐々に仕事を絞り、趣味の合唱、ピアノ、異業種交流会を楽しむようになっていく。



④A改めて人生を振り返ると公認会計士・税理士の資格をとって本当によかったと思ってる。この資格でもって、また大学時代の人の縁で仕事ができたりライーマンではなく個人事業主であり、自分の思うようにスケジュールができたことで、仕事と余暇を配分し、余りストレスもなく、やってきた。今までがむしろに仕事をしてきたという感はない。

⑤A早く自分の適性を見極め、コツコツと努力すればいずれ報われると思う。仕事では相手との信頼関係が大切。人間関係がうまくいっていないと、依頼された顧問先とは長続きしない。滋賀大生に対しては、学生時代の友人を大切にしていきたい。

⑥A今の仕事は75歳で止めるつもり。その後はゆっくり余暇を楽しみたい。

【インタビュを終えて】

今回のインタビュは山内さんご自慢の応接室兼娯楽室兼趣味の部屋で実施させて頂いた。そこには映画視聴用大型スクリーンあり、ピアノあり、バーカウンターありと山内さんの趣味の広さを物語るものであり、その世界にはインタビュ前か

ら感激した。ここが山内さんの元気の源であるとも思った。

山内さんのお話を伺って分かったことは、山内さんご自身が仕事が好きであること、その背景にはごく限られた者しか取得できない、専門性の高い資格(公認会計士・税理士)があり、その裏付けがあつてこそ、自分の好きな世界を自ら切り開くことができたと思う。山内さんの人生は企業人にも参考になるものであつた。

【第二弾】

三矢誠(大25・水泳部、小倉ゼミ)氏
今も「三代目せんべい屋主人」の個人事業主として活躍されている三矢さんを紹介する。

①Aお店のある西尾市一色町で、1955年に生まれた。もともと実家はここでせんべい屋を営んでいた。小学5年生の時、多発性麻痺症候群になり、7ヶ月入院。3年間の激動禁止のち、泳げないままに、リハビリの意味もあつて中学2年生で水泳部に入部。そこから水泳とのつながりがはじまることになった。中学は地元の中学、高校は県立西尾高校へ通った。高校でも水泳部に入った。その当時の

西尾高校は強く、その練習方法を大学入学後の水泳部へ持ち込んだ。

1973年滋賀大学経済学部経営学科入学。水泳部では当時は30名程が在籍しており、3年時にはその主将を務めた。近国体で団体3位になり、優秀クラブになった。中学、高校時代は東海銀行(現三菱UFJ銀行)の支店長になりたかつたが、兄が歯学部に入学したため、次男ではあつたがせんべい屋の跡取りとなつた。

②A水泳部だけという訳ではないが、運動部や下宿、ゼミなどで培った人脈が社会人になつても非常に活きた。銀行員となつた人が多く、お金のやりくり(資金繰り)には困らなかつた。追つて、父親の会社(ヤマ伍三矢商店)へ入ることになるが、その後も同期に人たちの頑張り

が自分の励みにもなつた。③A大学卒業後は1977年に(株)京樽(当時は大3回卒の田中博社長のオーナー企業。1981年東証一部上場)へ入社した。そこで2年間お世話になった。当時の京樽は大卒は滋賀大からしか採用していなかつた。25歳になり、父親の経営する(株)ヤマ伍三矢商店へ入社。

当時従業員は15名程で海老せんべいの製造と海苔問屋の兼業であった。30歳の時、父親の死去により社長となり、以降37年間社長を務めている。

④A 今自分があるのは滋賀大学のお蔭だと思っている。ぜひ大学には恩返しをしたい。大学同期の友達の多くが企業へ就職する中で、当時は自分のような個人事業主となった者は少なかった。ただ大学時代の友人には恵まれていたと思っており、個人事業主となっても苦しい時代もあったが、その時にはいつも友人達だったらどうしただろうと自問自答し、自分のお店の難局を乗り切ってきた。自分の人生、生き方としては、大学時代のつながりがベースとなっており、特に同期の友達とは今でも付き合いがあり、それは自分としては誇れるところである。大学時代の友人というのは利害関係がないため、一生の友人になれると思っている。

⑤A 大学時代に、できる限り多くの友人を作ることが大切であり、それが将来にわたって絶対活きると信じている。

⑥A 自分の子供がまだ小さい(中学生)のため、彼が大学を卒業するまで(8年)



は、この自分の店を切り盛りするつもりでいる。

【インタビューを終えて】
今回のインタビューはせんべい工場に隣接するお店の中の事務所で実施させて頂いた。その前に三矢さんにはせんべい工場内も案内して頂いた。そこには総勢10名程の方々が明るく元気に楽しそうに働いておられたのが印象的であった。

今回突然の岸の訪問にもかかわらず従業員の方々に明らかな挨拶をして頂いた。その背景には三矢さんの経営理念がしっかり根付いており、具体的な三矢さんの思いとしては、「笑顔があつて、幸せを感じられる事業所でありたい」「従業員退職時に『この会社で人生が楽しかった』と言ってもらえる事業所でありたい」というものがあり、この理念は企業で働く者に

も共用できる、活かせるものであると思う。

【第3弾】 岡岸 泰志(大30)

牧野博和(大28・ボート部、進藤ゼミ)氏

株式会社アルファコンサルティング
テイニングの代表取締役として活躍されている牧野博和さんを紹介する。

①A 1958年生まれ。実家は日進市で町工場を営んでいた。当時の日進は、今よりも自然豊かな田舎であった。地元の小・中学校へと通い、高校で名古屋市の愛知県立瑞陵高校へ進学した。

1976年4月に滋賀大学経済学部経済学科へ入学した。「日本一になろう!」という先輩の力強い言葉に魅かれてボート部へ入部。ほぼ全員が一からのスタートであることも入部動機の1つであった。小中高と運動が特に出来たわけではなく、入部当初は基礎練習の懸垂や綱登りもこなせなかった。しかし、日々懸命に取り組み、力をつけて全日本新人選手権のエイト部門で準優勝を勝ち取った。学生時代の思い出として、まずボート部の日々が思い起こされる理由は、1つの目標に向かって、し

なければならぬことを、歯を食いしばって取り組んだからだと思う。

②A 目標に対して「絶対なんとも、徹底的に励む」という考えをボート部での経験から学んだ。その経験から、社会人として苦しい時も良い時も、しなければならぬことに徹底的に励むことを意識してきた。そうして成体験を積み重ねることで、セルフイメージを高めることができている。

③A 1980年3月に卒業し、ブラザー工業へ入社した。就職活動では得意の英語を活かすことのできる商社を希望していた。しかし、長男であったため、ゼミの教官であった進藤先生から地元メーカーが良いと勧められ、商社よりも早くに内定をもらったブラザー工業へ就職した。ブラザーが若いうちから主体となって働くことのできる環境や企業規模であったことも、入社を決めた理由の1つ。ブラザーでは入社当初から商品企画を担当し、新規事業の開発をしてきた。それまでにはない新しい店舗形態を企画し、その経営も行った。

充実した日々を過ごす中で、

会社経営から相続等までお気軽にご相談ください。

● 税理士法人 表野会計

代表社員 表野宏和 (大29回)
税理士

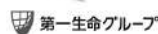
〒467-0043 名古屋市瑞穂区岳見町1丁目13番地
TEL: 052-832-2049 FAX: 052-834-1797
E-mail: hyonok@luck.ocn.ne.jp

生命保険・損害保険41社を取り扱う代理店です。
保険の相談、遠方も対応します。



株式会社 アルファコンサルティング

取締役会長 牧野 博和(大学28回卒)



〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-20-25
メットライフ名古屋丸の内ビル9F
TEL (052) 223-2011 FAX (052) 223-2013
E-mail info@alpha-consul.com https://alpha-consul.com

自分の仕事が社会のためでも会社のためでもなく、上司のための仕事になっていないかと、迷いを感じるようになり、自らの足で立ちたいと思い始めた。そのタイミングで、ブラザーの先輩で、先にソニー生命へ転職していた方から、こちらへ来ないかと誘われた。絶好の機会だと思った。掴んでもすり抜けてしまふ「女神の前髪」を、自分が今まさに掴んでいると感じた。その「女神の前髪」を絶対に放すまいと転職を決心。ソニー生命で営業職を一から学び、日々邁進。その結果、7年連続で社長杯入賞等の数々の賞を獲得。ソニー生命最高位資格のエグゼクティブライブランナーとなり、自分でやっていけると確信して2002年に退職した。

ソニー生命での経験をもとに、同年に現在の株式会社アルファコンサルティングのベースとなる乗合保険募集代理店を起業。顧客や業務が増え、志の近い信頼できる者に声をかけ発展させた。さらに規模が大きくなったある時、「クーデター」が発生。自分を社長から降ろそうと企む社員が現れてしまった。首謀者から根も葉もない噂を吹聴された複数の社員が辞任を迫ってきた。会社を立ち上げた自分が辞めるわけにはいかない。彼らと向き合ったものの、次第に彼らは会社を辞めてしまった。それは組織作りに取り組み中での出来事であり、経営理念や皆で大切にしている価値観をさらに浸透させるべく励んだ。今は、顧客の幸せを一心に考える社員やコンサルタントに支えられている。彼らが最大限に顧客の為に励み、活躍できるように環境作りを整え続けている。また、陵水会員の先輩から紹介をいただいた国際ロータリークラブで、西名古屋分区分ガバナー補佐も務めている。

⑤A目の前のやるべきことを徹底的にやってほしい。学生の中には、やりたいことがないと言う者がいる。しかし、何をすることが大切ではなく、どういう質で取り組めるかが重要だと思ふ。目の前のやるべき事を一生懸命にやれば、自然と幅が広がる。その経験が将来の自分の糧になり、セルフイメージを高めることに繋がると思う。

⑥A現在、北海道から九州まである支店を、さらに増やしたいと考えている。4年前に価値観の合う第一生命の傘下に入ったことで、支店のさらなる拡大に臨めるようになってきている。じきにビジネスマンとして最後を迎えるため、セミナー活動もしていきたいと思っている。これまでに得た経験や知識を整理し、これからは講師として、保険業界で働く人々に寄り添って彼らの相談に乗っていききたい。



【インタビューを終えて】 今回のインタビューは、アルファコンサルティングの社長室で実施させて頂いた。オフィスは地下鉄丸の内駅すぐのビル最上階。昔から名古屋の要所であった「長者町織維街」に立地する。以前から牧野さんのお名前は存じ上げていたものの、私は初対面であった。面識のない私を、牧野さんは温かく迎え入れてくださった。

取材を通し、牧野さんはこれまで確固とした軸に基づいて歩まれてきたのだと感じた。ポーター部で学んだ、目標に徹底的に励む、という考えを、時には立ち止まって悩みながらも貫き続けた。だからこそ、牧野さんご自身も言われるように、これまでに「女神の前髪」を逃すことなく得ることができているのだと思う。

また、牧野さんが社長として社員やコンサルタントを大切にしたいという強い思いをお持ちであることも感じた。社員やコンサルタントが抱える自らの課題を、彼ら自身が乗り越え、充実して働くことができるような環境づくりをされている。そういった会社で働くコンサルタントに、自分の人生計画に必要なサポートを相談したいと思った。

取材の中で、牧野さんから発せられる言葉ひとつひとつに力強さを感じた。1つのことに取りくみ続ける勇気をいただいた。

【第4弾】 今井綾乃 (大58・院41) 表野宏和 (大29・合気道部、清水哲ゼミ「大学」、小倉ゼミ「大学院」) 氏

今も現役の税理士さんとして活躍されている表野さんを紹介する。

①A 1958年生まれの今年64才。生まれは名古屋市中村区則武。父も税理士。もともとその事務所は中区にあったが、10歳の時、今の住所の瑞穂区岳見町へ引っ越してきた。そのため小学校は名城小学校へ入学したが、岳見町の陽明小学校へ転校した。小学校卒業後は汐路中学校、昭和高校へ進学した。中学、高校を通して野球部に所属。高校の時のポジションはセカンドであった。昭和高校卒業後は、本日は慶応大学か、名古屋大学へ行きかけたが、最終的には浪人を避け、滋賀大学へ行くことになった。滋賀大学の入学式では腕をつかまれ、合気道部の部室へ連れ込まれたことが縁で、結局合気道部へ入った。

②A部活動を通して、礼儀作法、下に対する思いやりを学んだ。先輩達とワイワイガヤガヤ言いながら酒を飲んだことが懐かしい。部活動ではよく港湾の周りを走らされた。そのお陰か、新歓マラソンでは大学院時代に6位入賞、税理士になってから走ったホノルルマラソンでは参加者23515人中173位で完走した。今はそこまで走れないが。同期は4名いたが、そのメンバーとは今でも繋がりがあ

る。東海地方の合気道部出身者の繋がりとして「愛合会」がある。合気道部時代の夏合宿は時間厳守が厳しく、辛かったことを思い出す。特にその際の正座での反省会はなかなか正座ができず苦労した。

③A1981年滋賀大学会計学科を卒業後、滋賀大学大学院・経済研究科へ進み、そこで2年間学んだ。その後名城大学大学院・法律研究科へ進み、そこでも2年間学んだ。名城大学大学院時代に税理士資格を取り、その後2年間の実務経験を経て、28歳で税理士登録し、晴れて税理士となった。税理士となった後は父が営んでいた税理士事務所へ入り、それを引き継ぐ形で今に至っている。その父は6年前に他界した。今は、ベテランの税理士さんに加え、母と社会保険労務士の資格をもつ妻、自分の計4名にて税理士事務所を営んでいる。

④A15年ほど前、仕事で相続関係の案件を扱った際に失敗したことをよく覚えている。その頃は相続関係はまだ扱っておらず、経験がなかったことがその失敗に繋がったものだと思う。現在の仕事のメイン業務は法人の決算処理であり、毎月決算業

務があり、ありがたいことに継続して仕事はある。

新型コロナウイルスが猛威を振るった影響もあり、支度金申請のサポート業務が増えた。人と接することは好きなのにこの税理士業務は自分に合っていないと思う。今の仕事は結構自由に時間がとれ、自由に動けるのでよかった。お客さんに何か提案して、それがその人、その会社の良い方向へ向かった際にはやりがい、喜びを感じる。税理士としてお客さんとお付き合いが始まれば、そのつながり、関係は長く続き、こちらとしてはそれが安定収入に繋がる。それがまた税理士の魅力の一つだと思う。

税理士として、お客さんへのアドバイスを誤ると損害賠償を求められる場合があり、税理士という仕事は、「責任ある仕事」という自覚、自負をもっている。⑤A税理士も資格の一つだが、とにかく専門性をもつこと、資格を持つことは重要であり、これからの人生を良い方向へ導くものだと思う。また、いろんな人、より多くの人と交流することがよい。そこから多くの情報を得ることができる。⑥A残念ながら今の税理士事務

所の後継者はいない。今後、この事務所をどうするかは頭の痛いところ。ただし、自分としてはこのまま70歳までは頑張りた。自分の趣味はまずはお酒を嗜むことであるが、その他にはゴルフ、山登り、ソフトボール、スキー等といった身体を動かすことであり、それは仕事とのメリハリをつける意味でも続けていきたい。

表野さんから一言 最近では税理士試験を受ける人、税理士になりたい人が少なくなっている。それが気がかりであり、もつと税理士業界にも若い力が必要だと思う。現在、東海4県で滋賀大学出身の税理士・会計士は70名ほどいるが、若い人が入ってこなくて、その平均年齢が高齢化している。若返りを図っていきたい。

【インタビューを終えて】 今回のインタビューは表野さんの事務所へ実施させて頂いた。事務所のある岳見町には豪邸が並ぶ高級住宅街があり、表野さんの事務所もその一角にあった。表野さんの決して相手に不快感を与えない話し方にまずは感激した。そのソフトな接し方でお客さんとのお付き合い、関係を大切にしながら対応



されているものと感じた。この人柄ならお客さんは離れないとも思った。特に同窓生であればまた気軽に税務相談等に乗って頂けるものと思う。今後も自分の趣味とのメリハリをつけながら、楽しく元気に税理士業務を続けていけるものと思う。

【第5弾】 安藤 久(大31・ボート部、仙田ゼミ)氏 東濃産業株式会社の代表取締役として活躍されている安藤久さんを紹介する。

①A1960年生まれ、岐阜県東濃地方の山奥の小さな町である旧恵那郡山岡町に生まれ育った。交通が不便な僻地なので、多治見市内に下宿して、多治見北高等学校に進学した。入学当初はバトミントン部に入ったが

帰宅部になり、下宿生活でもあったので怠惰な生活になってしまい、学業成績が360人中300番台まで落ちてしまった。これではいけないと2年生から真剣に取り組み、3年生後半からはなんとかまとめた成績になり、現役で大学に進むことが出来た。

元々は東京六大学のどこかに進みたいと考えていたが、明治大に受かってみると、東京へ行ったら怠惰な生活になってしまふと考え、田舎で授業料の安い(当時年間14万円程度)滋賀大学を選んだ。合格したら、高校の先輩の岸泰志さんより強引な密着恩着せ勧誘を受け、断れぬままボート部へ入部。ボート部では結局、対抗エイト(一軍の艇)には乗れなかったが、四回生の夏まで現役でオールを握っていたことは自分なりに最後までやりきったとの思い。

又、戸田のオリンピックコース(戸田漕艇場・埼玉県戸田市)で漕ぐ事が出来たのは良い思い出です。②A大学4年間ボート部を続けることにより、目標に向かって根気よく努力することを学べた。苦しい時はあっても努力していれば必ず良い時が巡って来

ると思えるようになった。又、ポート部の厳しい練習のおかげで体力に自信も持て、社会人になってから色々な事に積極的に取り組めたと思う。体力があるからこそ、会社のラクビー部や地域のラクビークラブに参加し、そこで出会った友情を深めたことは今でも懐かしい思い出となっている。

③A 大学卒業後、神崎製紙株式会社（合併により現在は王子製紙株式会社）に入社。

・ 尼崎工場操業管理課に配属（2年）、ノーカーボン紙の生産計画を担当（1993年当時…全社売上1400億円／年、担当部署売上250億円／年）。

・ 勤労課（3年）で、教育訓練・広報など担当。

・ 新規事業プロジェクトチーム（1年）として、銀座4丁目の100坪を使った新規事業プロジェクトに携わった。

・ 28歳の時、見合い結婚で義父の会社（東濃窯業）への入社が決まった為、退社。

・ 現在の会社は、この地区の地場産業である陶磁器関係のメーカーで、マンションや戸建住宅等に使用する外装タイルを製造。燃料や原料の値上がりで激しく、又、エネルギー消費型の

業界であるため厳しい状況が続いている。同族の中小企業の場合、次の世代に「家業」をいかに引き継ぐかが重要と思うので、新しい事業への転換も視野に入れながら事業に取り込んでいる。

・ 2013年 代表取締役就任。

④A 二人兄弟の次男坊だったので、大学に行かせてもらいサラリーマンとして会社勤めすることが当然と思っていたが、縁あって地元に戻り会社経営にたずさわることになった。どちらが良かったかは分からないが、生まれ育った地域で生活出来る現状には満足している。

⑤A 就職して5、6年が、非常に大切な時期であると思う（社会人としてその後の仕事をしていく基礎を形作るため）。入社後は、様々な課題に積極的に勝つ誠実に取り組んで、自分なりの基礎を作り上げて欲しいと思う。

⑥A 「会社をいかに次の世代の人へ引き継いでいくか」が現状の最大の課題。企業は生き物と思うので、時代の要求に合わせて変化していくことも必要。当社の主力製品である外装タイルの需要は縮小の一途なので、こ

れに変わる新しい事業を模索していきたいと思う。

【インタビューを終えて】

今回のインタビューは、東濃窯業株式会社内の社長室で実施させていただきました。自宅から15分程度でしかも同じ高校出身、ご出身地の山岡も近いため地元ネタなどで盛り上がる話も多く、楽しいインタビューでした。自分が東京勤務時代に感じた「ここでは自分のような田舎者は暮らせない」という感覚も同じで、地元に戻ることを決められた気持ちも良く分かりました。そのご縁で社長業を務められるというのも「人生には色々なあるなあ」と改めて思いました。

今後のことを考えられると「70歳までは第一線で頑張らね

ば」というニュアンスが伝わり、経営者の大変さが伝わってきました。厳しい業界ではありますが、頑張っていたいただきたいと思っています。

【第6弾】

塚本浩三（大30）

橋本 衛（大31・ポート部、森俊治ゼミ）氏

ミズショー株式会社・代表取締役として活躍されている橋本 衛さんを紹介します。

①A 1960年に生まれた。出生地が福岡県だったのは転勤族だった父の仕事の関係。その後、直ぐに鎌倉へ引っ越し、4歳の頃、さらに名古屋市天白区平針へ引っ越した。平針小学校入学で卒業は、同じ天白区の植田小学校。御幸山中学校、桜台高校を経て滋賀大に。

高校時代バスケットボール部に所属したが体調を崩し、4か月の休学（高熱が続く）、この頃心身共きつかったが、その体験が大学で何かスポーツに打ち込み完走したいとの強い思いに繋がった。必ずしもポート部ということではなかったものの、滋賀県と言えば母なる琵琶湖という単純な動機だったでしょう。

②A 一般的に体育会というと上下関係が厳しい、というイメージ



エレクトロニクスの
ミズショー株式会社
MIZUSHO

本社：〒466-0058
名古屋市中昭和区白金1丁目4番20号
TEL：(052)872-6455

拠 点：愛知県刈谷市（事業所）
中国浙江省、広東省
タイ国 サムットサコーン県

U R L：http://www.mizusho.co.jp/

代表取締役社長 橋本 衛（大31回）
総務部 次長 高橋和孝（大44回）

外装タイル、外装モザイクタイル製造

東濃窯業株式会社

代表取締役 安藤 久（大学31回）

【本 社】 岐阜県土岐市下石町304番地
TEL 0572-57-8111 FAX 0572-57-8115

【山 神 工 場】 岐阜県土岐市下石町2308-1
TEL 0572-57-4500 FAX 0572-57-5033

【石拾出荷センター】 岐阜県土岐市下石町304番地
TEL 0572-57-8281 FAX 0572-57-2889

http://www.to-no.co.jp/

ジが強いが、部活動を通じ違った形で感銘を受けたことがある。それは3回生時、練習は当時関西では随一の練習量を誇っていたが、シーズン集大成の関西選手権、インカレで対校クルー（トップ・チーム）が惨敗に次ぐ惨敗に終始し、その後の新幹部にはどう進めていくか路頭に迷うところ、当時4回生の兵藤先輩や岸先輩（名古屋水）らが古川氏という日本で有数のコーチに指導を受ける道筋をつけてくれ、それまでの『根性練習』から、理論に基づく練習法、試合本番へのコンディショニングなど、180度違った取り組みを開始し、部員も自信を取り戻し、翌年の関西選手権等で目覚ましい躍進ができた分岐点となったことを今でも忘れない。

（朝日レガッタ、関西選手権とも決勝進出するも決勝は荒天にて中止ではあったが）敗戦の落胆、失意から、そのまま終わらず次の世代に一つの形を残すというのには、正にリーダーの求められる姿であり、組織のあるべき姿として素晴らしいことであり、今でも先輩方に感謝していると共に、会社組織にあってのも逆境は次なる成長への一つの節目、機会となり得ることは、

今にも生きる教訓となっている。③A 4回生夏のインカレ（8月下旬）が終わり、就活開始、まだ募集していたヤンマーデイズル株式会社（現・株式会社ヤンマー）にお世話になる。すぐに高松支店へ配属、25歳時、大阪本社本社へ転勤異動。27歳の頃、（転職して）今の会社の社長をしていただいた父や、他の役員の方が代わる代わる来阪され、名古屋へ戻るよう勧誘、説得を受ける（随分ご馳走にはなった）。大学卒業時に親父とは「名古屋へ戻る必要はない」と会話していたのでこの時の説得工作には猛反発するも、私のビジネスマン人生で唯一最も尊敬する最後の上司から、「当社（ヤンマー）にはお前の代わりはいくらでもいる・・・」との言葉がショックで1989年、今の会社（ミズショー株式会社）への入社を決断。国内では名古屋、刈谷で事業展開、海外進出を経験しながら、中国、タイの4か所で活動中。2022年現在の社員数は、約400名（国内は120名）。

④A 振り返るにはまだ早い（若い）？とは思っているが、大卒ポータ部で経験したことは今の会社経営にも参考になるところ多く、そういう意味では大学生活とは社会人として旅立つための滑走路と言えるのではないか。ただし年を重ねてきて、在学当時、部活に関しては大層な自信の塊であったこと、それが全てであったことに對し、様々な意味でそもそもポータ部員である前に俺は滋賀大生だったのだ、彦根市民の一人として認めてもらっていたのだと遅まきながら自覚し、いささかの反省を含め、振り返ることも。そんな感謝の思いあり、毎年、「彦根市」にはふるさと納税を行っている（若干の物欲も含め）。⑤A 一つの時代も「今の若い者は・・・」と言われるが、最近の大学ホームページや「陵水年報」を拝見していると、各方面で新たな挑戦をしている若者の記事に出会い、こちらが感心させられている。世の中を見渡しても、特にスポーツ界で若い才能が臆することなく我も我もと海外へ挑戦しようとしている様は、その活躍云々の前に何とも頼もしい限り。

しかしながら、昨今、かつては10年に一度の問題が毎月起こるような正に激動の時代を迎え、若い方々には常に世の中に事象に對し、自分の考えを持つ習慣を持つ（当事者として）ように心がけることがやがて、自身の成長を助けてくれるように思う。当社では些細なことながら、昨年より男女共、服装に関する規則を全て撤廃し、“自分で考える”こととした。（但し安全を要する物流、製造現場を除く）⑥A 世の中の潮流でもあるダイバーシティなど、ジェンダー、国籍、経歴などを問わず、全ての人に機会が与えられる会社を実現したい。また間違いなく日本国中、定年は延長方向にあるが、実際の60歳到来の方の思いは正に千差万別で個人、会社にとつてどのような形が最良の解となるのか手探り中。当社では現在、外国籍の者がひとり取締役を務めているが、もっと増やしたい。結果、過半の社員が機会均等を実感できるしくみ作りに挑戦したい。ある程度それが適したら、その次のことを考えたい。

【インタビュを終わって】 今回のインタビュは、ミズショー株式会社内の会議室で実施させていただきました。年代の違う大先輩のお話は、滋賀大学の歴史を感じると共に、大変学びも多いものでした。会社員時代、社長になられてからのお話は、一会社員として働く私にとって、「経営者目線」のお話はとても新鮮でした。挑戦し続ける橋本社長を見習い、私も今後の人生で色々チャレンジしたいと思います。

【第7弾】 寺西基治（大31・水泳部、吉田貞夫ゼミ）氏 株式会社山一ハガネ代表取締役として活躍されているの寺西基治さんをご紹介します。①A 1960年生まれの63歳、生まれは名古屋市昭和区。3人の男兄弟の真ん中で育った。祖父が山一鋼商店を、1927年（昭和2年）に創業。会社は、今年で96年目を迎える。小学校は地元の村雲小学校、中学校は



寺西基治（大31・水泳部、吉田貞夫ゼミ）氏

株式会社山一ハガネ代表取締役として活躍されているの寺西基治さんをご紹介します。

寺西基治（大31・水泳部、吉田貞夫ゼミ）氏

株式会社山一ハガネ代表取締役として活躍されているの寺西基治さんをご紹介します。

寺西基治（大31・水泳部、吉田貞夫ゼミ）氏

円上中学校、高校は明和高校へ通った。小、中学校では水泳部に所属したが、バレーボールも少々やっていた。明和高校の3年間は、剣道部に在籍。しごきがいやでさぼってばかりいたが、卒業後に「全日本剣道連盟剣道三段」取得。また、ただ声が大きいうりだけで、合唱部にもエキストラ参加していた。

1979年に晴れて、滋賀大学入学！高校の担任の先生は、浪人覚悟で名古屋大学を推薦したが、当時の会社の顧問税理士が彦根高商出身ということもあり、現役で行けそうなどころという事で滋賀大学を選んだ。

入学時は水泳部の方々にお世話になり、その当時の新入生がそうであったように会った日からマンツーマン体制でアテンドされ、流れから結果として水泳部への入部となった。授業の選択にあたっては、新入生で何もわからなかったため先輩に言われるまま選んだが、結果多くの単位を落とすことになり、学生時代は4回生までしっかり授業へ出るようになった。(それが本来の学生のあるべき姿かもしれないが・・・)

②A水泳部では主将を務めた。当時は、総勢30名程の部員がいた。自分が主将の時に、ある大会で関西の国公立の総合大学の一角を抑えて3位入賞したことが良い思い出である。そこに至るまでは、皆で頑張ってきた。当時は、他大学が羨むほど部としてのまとまり、結束、チームワークがあった。

体育会の水泳部、それも主将というところが、就職時には有利に働いた。大手商社、都銀では内定直前まで行っていたが、最初に内定をもらったのは日立金属。当時は先決主義ということ、就職はそこに決めた。

③A家業(山一ハガネ)は兄が継ぐものと思っていたので、1983年に日立金属で社会人スタートした。最初は島根県安来(やすぎ)工場に4年、その後アメリカ(デトロイト、ニューヨーク)に合計6年駐在し、東京本社に2年勤務した。その流れからして日立金属にそのまま勤務すると思われたが、兄が研究職の道を選定したため、弟である自分が家業を継ぐことになり、急遽人生の流れが一ハガネ)へ転職することになった。

入社後は内部管理業務に携わったが、在庫管理一つをみてもその当時の多くの中小企業がそうであったように、どんぶり勘定であった。それを自分なりに経営を猛勉強して、一つ一つ整理、改善。今までの『ザ昭和の中小企業』にあって、「会社らしい制度作り」を実施、実現してきた。自分としてはこれまで、常に危機感をもって業務に取り組んできたつもりである。

④A人生が終わった訳ではないので、自分としては過去は振り返らない。振り返っても今更過去は修正できないので、常に前を見ている。会社継続、存続のために海外展開が必要と感じて、1997年以降、タイ、ベトナム、シンガポール、マレーシアへ進出して行った。この海外展開には、自分の日立金属時代の駐在経験が生きている。海外展開の結果として、他社に先駆けた事業のグローバル化が実現し、外資との事業提携にもつながった。

⑤A一つ目は、世界のどこでビジネスをやっていくにも、ぜひ英語力をつけて欲しい。特に、英会話をやって欲しい。今はやりの翻訳機は実用的ではあるが、実際のビジネスには対面でのコミュニケーションが重要。二つ目は、興味があることには

何でもチャレンジして欲しい。三つ目は、多くのことを経験し、自分なりの価値観、物差しを持つて欲しい。

⑥A会社として生き残るには、世の中の流れに対応していくしかない。会社は、変化対応業。あくまで本業(特殊鋼ビジネス)を基盤に、そこから世の中に役立つ仕事を増やしていきたい。その結果が『ファイギュアスケート用ブレード』『たき火台』であり、特にブレードは金メダリストを支えている。さらに、カーボンナノチューブを応用した表面処理技術や自社製品の素材、ソフトウエア、3Dプリンター、特殊塗装技術を用いたAM事業も立ち上がる。

自分が気にしていることは、社員がいかにも楽しく働いてくれるかということ。そのためには、

⑦A一つ目は、世界のどこでビジネスをやっていくにも、ぜひ英語力をつけて欲しい。特に、英会話をやって欲しい。今はやりの翻訳機は実用的ではあるが、実際のビジネスには対面でのコミュニケーションが重要。二つ目は、興味があることには

何でもチャレンジして欲しい。三つ目は、多くのことを経験し、自分なりの価値観、物差しを持つて欲しい。

⑧A一つ目は、世界のどこでビジネスをやっていくにも、ぜひ英語力をつけて欲しい。特に、英会話をやって欲しい。今はやりの翻訳機は実用的ではあるが、実際のビジネスには対面でのコミュニケーションが重要。二つ目は、興味があることには

何でもチャレンジして欲しい。三つ目は、多くのことを経験し、自分なりの価値観、物差しを持つて欲しい。



自分が気にしていることは、社員がいかにも楽しく働いてくれるかということ。そのためには、

JAPAN PRIDE ! 世界最高の独自技術でモノづくりの未来を創造



株式会社山一ハガネ
代表取締役 寺西基治 (大31回済)

2022年全日本フィギュアスケート選手権男子表彰台独占の快挙！「YS BLADES」を設計・製造。宇野昌磨選手、リクリュウペアをはじめ多くのトップ選手の活躍を最高の技術力で支えています。金属加工のみならず、新次元の品質を実現する3Dプリンタ「3ixD」を自社開発し業界に革命を起こしたAM事業、カーボンナノチューブを用いたSDGsに貢献する奇跡の省エネ技術「CAST」、所ジョージさんも絶賛の究極の焚き火台「HITAKI」など、他社に真似のできない尖ったアイデア、技術、ノウハウで日本のモノづくりの未来を創造していきます。

〒459-8007 名古屋市長区大根山二丁目146番地 TEL (052) 624-2555 FAX (052) 624-2566

世界最高の純国産スケートブレード
YS BLADES



所ジョージさんも絶賛！
究極の焚き火台 HITAKI

今の会社を魅力あるものにしていかねばならない。また、夢のある仕事をしないと将来にはつながらない。自分としては、会社（山一ハガネ）を通して、社員の幸せを実現し、社会、顧客に必要とされる事業を展開したい。幸い、それを理解してくれる社員が増えてきて喜ばしい。

【70周年記念総会】
令和4年4月23、24日、昭和57年卒ソフトテニス部同期12名の卒業四十周年旅行を行いました。11時30分、近江ちゃんぽん彦根インター店に（東京からは新幹線、名古屋・関西からは車）で集まり、最近人気と言う近江ちゃんぽんを食べました（昭和38年創業というけれど、当時食べたことのある者はいません）。彦根キャッスル&リゾートへチェックインし、レンタサイクルの4名と車2台で、まずはテニスコートへ。現役生はリーグなどで不在でしたが、彦根城をバックに記念撮影、講堂にも運良く入れて見学でき（新型コロナウイルスのワクチン会場になっていました）、生協や新体育館（昔のコートは体育館の下に・・・ちよつと残念ですが・・・）も訪問。

「社員の幸せを常に抱いているので、社員のことを第一に考えながらその主体性を尊重し、皆が楽しく働いて気兼ねなく物言える雰囲気を出している。それだからこそ、『フィギュアスケート用ブレード』『たき火台』といった、従来の山一ハガネのイメージから脱却する製品の供給に繋がったものと思う。」

その後、下宿回りに向かうと、城町から銀座を越えて大橋町の仏壇街、南彦根駅近くの下宿はそのまま残っていました。新しい家並みにずいぶん変わっていました。15時にスイス（残念ながら来月5月29日で閉店するらしいです）で休憩、サイクリング組はすっかり疲れていました。

『滋賀大生、やる気のある者集合！』という掛け声をかけたくなる会社であり、滋賀大からの有望な就職先の一つになることに期待したい。

【図岸 泰志（大30）】

ソフトテニス部

滋賀大学体育会ヨット部

一旦ホテルに戻り、レンタサイクルを返却して車3台で移動。カインズ（元オウミケンシ）で陰膳用のお花を買ったあと、四十年前と変わらぬ建物への耐震補強には徳聖寮の歴史を、当時はなかった大藪の県立大学の建物には時の流れを感じ、立ち寄った宗安寺では新歓コンパした40年前の思い出を語り合ったりしました。

【70周年記念総会】
2022年8月27日に滋賀大学体育会ヨット部70周年記念総会を開催しました。準備に2年、コロナ禍により延期し、この8月にやっと開催することができました。

夕食会場であるキャッスルロードの千成亭伽羅では、20年前に亡くなった同期の陰膳にお花を添え、総勢13名で会食を楽しみました。四十年前の部誌、写真に当時を思い出し、昔話に花が咲き盛り上がりしました。

竹村学長、他ご来賓、ZOOM参加者、学生含め総数110名程の参加を得て、場所は大学講堂を使わせていただきました。今回は、会食はなしでした。テーマは、次世代へ引き継いでいくこと。また、記念文集の発行。大学およびヨット部への寄付。等々。

二次会はホテルのツインの部屋に集まり、狭いのは昔の下宿みたいで40年前に戻ったような時を過ごしました。翌朝は又の再会を期して、ゴルフ組とそれ以外に分かれました。

竹村学長のピアノ演奏による激励エールあり。また、中野経済学部長の講演もいただきました。事前のZOOM会議を通して、OB各代をグループ分けして、今後のOB活動で重要となる方針を決めました。事前の話し合いを持つことで、特に若手、中堅のOBの方々には、日々多忙な生活の中に、ヨット部OB活動を加えてもらうよう、一石を投じた、気づきの記念総会になったと思います。



【図塚本浩三（大30）】

OB相互の活発な交流をめざし、学生への支援活動の継続と、



喫茶ベル

鈴木俊彦（大33回）
名古屋市港区秋葉1-120
（国道302号南陽農協前交差点角）
TEL 052-301-5437

山田康博税理士事務所

〒452-0942 愛知県清須市清洲田中町29番地
TEL 052-409-0836 FAX 052-409-1904
E-mail : usm94923@biglobe.ne.jp

税理士 山田康博（大学31回）

役員会と彦球会総会、懇親会が開催されました。会場は、ホテルサンルート彦根。

【役員会】

まず、彦球会役員と学生幹部による『役員会』では、会長の松居義治氏（大21）から「3年6シーズンに及び1部で試合を

彦球会（硬式野球部OB会）

し、陵水帆人会の存在価値を強く感じ、「滋賀大学および、ヨット部の未来に幸あれ」と多くのOB、学生たちが改めて決意した良い記念日になりました。

園内田 誠（大31）



2022年11月19日（土）に役員会と彦球会総会、懇親会が開催されました。会場は、ホテルサンルート彦根。

【総会】

役員会の後に開催された『総会』では、松居会長の挨拶の後、小倉監督から「2部だったチームの3年間1部残留が果た

しているが5位または6位であるので、来春はAクラスを目指してほしい」との励ましの挨拶が、川嶋正隆氏（大21）からは「秋は春よりチャンスに弱く、四球が少なくはなっている。ツーストライクに追い込まれたら、バットを短く持つ工夫が必要である」とのリーグ戦分析発表がありました。また、名古屋在住の役員から「応援に行きたいので、東海地区での練習試合の日程を伝えてくれる体制にして欲しい」との要望が上がり、最後に来年度からの村上茂人氏（大26）会長就任が承認されました。



2022年11月27日（日）13時30分より、名古屋市東区の中電ホールにて陵水男声合唱団の第6回ホームコンサートが開催されました。本来ならば昨年11月開催の予定でしたが、コロナの感染拡大で2年近く練習を中断していたため、延期せざるを得ず、今回やっと実現の運びとなりました。

【懇親会】

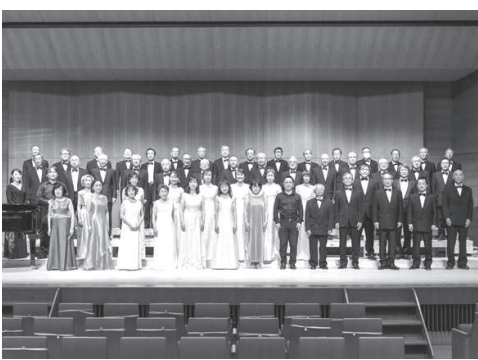
総会に続いて、『懇親会』が3年ぶりに開催されました。大学の感染対策指導で学生の参加はありませんでした。副会長の西村喜代一氏（大28）の司会進行で、彦球会会員14名が参加しました。村上次期会長から「Aクラスと言わず、明治神宮大会出場を目指したい」との乾杯の挨拶があり、1時間ほどの歓談の後に、副会長の高木徹氏（大30）による中締めで終了しました。

陵水男声合唱団

2022年11月27日（日）13時30分より、名古屋市東区の中電ホールにて陵水男声合唱団の第6回ホームコンサートが開催されました。本来ならば昨年11月開催の予定でしたが、コロナの感染拡大で2年近く練習を中断していたため、延期せざるを得ず、今回やっと実現の運びとなりました。

園片岡嘉幸（大25）

迫力ある重厚なハーモニーを達成すべく、今回も東海地区在住のOBに加え、東京、関西から多数のメンバーが参加しました。今回のコンサートでは2019年6月に彦根において彦根混声合唱団主催の演奏会に賛助出演したのがご縁で、同合唱団を本日のコンサートにお招きし、賛助出演して頂きました。当日の入場者数についてもコロナ禍のなか、心配しておりましたが、たくさんの方々にご来場いただきました。



今回のプログラムでは、第一部が「故郷」や「春の小川」など、懐かしい11曲の唱歌メドレーで構成されている「ふるさ

『ZEB』本社建設中
2023年11月竣工予定

重機商工株式会社
重機リース株式会社

URL: <http://www.jskk.com>

重機商工株式会社
JUKI SHOKO Co.,Ltd.

代表取締役社長
城所 真男 (33回卒)

〒464-0850
名古屋市千種区今池5丁目34番17号
TEL.052-741-1211 FAX.052-733-1238
E-mail: mkidokoro@jskk.org
携帯: 090-2618-8438
E-mail: mkidokoro1963@gmail.com

- 創業62年
- コマツ建機販売修理リースレンタル
- 国内各メーカーソーラー発電施工実績1000件以上

との四季」。第二部では、彦根混声合唱団の演奏による「混声合唱とピアノのための「花よせて」より」の選曲。第三部では、我が男声合唱団の多くが彦根での大学生活を過ごしてきた時代にレコーディングされた、青春の数々の思い出と共にある「遠くへ行きたい」など青春の愛唱歌5曲。最後のステージでは、男声合唱経験者ならもつともポピュラーな多田武彦作品集の中から、北原白秋が26歳の年に綴った詩集「思い出」に収められている「柳川風俗詩」4編の組曲を演奏しました。

そのあと、特別ゲストとしてお招きした竹村彰通学長が、ピアノ演奏をご披露され、驚かれた観客の方も多かったと思います。アンコールでは、学生時代の愛唱歌である「ウ・ポイ」(元々はクロアチアの愛国歌)を男声合唱団員全員で熱唱しました。コロナ感染がまだ収束しない中で、何とか開催にこぎつけ、演奏会終了後は団員の家族や友人・知人の方々から暖かいお言葉を多く頂きました。どうもありがとうございました。

岡山内佳紀(大23)

東海陵水会計人会

【下期例会 年末忘年会】

令和4年12月15日に東海陵水会計人会下期例会(年末忘年会)が、名古屋市熱田区金山の居酒屋「箱屋」にて午後6時30分より行われました。例会はコロナの影響でここ数年、通常通り開催されておりませんが、今回は行動制限が出ていない中で開催することに致しました。

出席者はゲストを含めて9名。今回は久しぶりに新入会員の入会がありました(松岡寛士氏・大61)。今後は会計人会活性化のためにも若手会員の積極的な参加を期待しています。

【全国の陵水会計人に向けての懇親会開催を企画中】



さて、東海陵水会計人会では毎年11月ごろに大学からの要請で、京都陵水会計人会とともに彦根で、税理士・公認会計士等の会計人を目指す学生に対する「学生説明会」に参加しておりますが、京都陵水会計人会の会長で現在、100年史編集委員長である原綱宗氏(大14回)のご提案で彦根高商創立百周年にあたる来年令和5年の秋に、全国の陵水会計人に向けての懇親会開催を企画しております。

詳細が決まりましたらご連絡致しますので、その節は是非ともご出席のほどよろしくお願いいたします。

(陵水会の100年史編集委員長として、又、京都陵水会計人会の前会長としてご尽力された原綱宗氏は、令和5年1月8日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします)

岡山内佳紀(大23)

令和5年大25回新年会

2月4日(土)に同期新年会を名鉄グランドホテル「酒梅舫」で開催しました。12年前に総会幹事を担当してから続いている会で、今回は10名の参加でした。

全員の近況報告に次々と質問が有り、3時間を超える会となりました。

今回のメインテーマは「定年後の夫婦の過ごし方」でしたが、家事分担をしながら「つかず離れずの関係を保つ」との回答が多かったようです。町内会長やJAの理事、コミュニティバスの運転手などに生きがいを感じる人や、健康維持に「毎日1回笑い、10人と会話し、100文字書き、1000文字読み、1万歩歩く」という目標を立てているという報告があった中で、1番の驚きは大学に論文を提出し、副賞1万円を得たという児玉さんの報告でした。

今回のメインテーマは「定年後の夫婦の過ごし方」でしたが、家事分担をしながら「つかず離れずの関係を保つ」との回答が多かったようです。町内会長やJAの理事、コミュニティバスの運転手などに生きがいを感じる人や、健康維持に「毎日1回笑い、10人と会話し、100文字書き、1000文字読み、1万歩歩く」という目標を立てているという報告があった中で、1番の驚きは大学に論文を提出し、副賞1万円を得たという児玉さんの報告でした。



岡片岡嘉幸(大25)

訃報 とりげんの大將逝く

「ご冥福をお祈りいたします」
「とりげんの大將」として親しまれた杉本義雄さんが、令和4年10月27日に満85歳で亡くな

**加古渉税理士事務所
加古労務士事務所**

税理士 **加古 渉** (大学56回)

〒470-1123愛知県豊明市西川町笹原19番地17
TEL 0562-57-5350 FAX 0562-57-5301
✉ wk-taxac@aioros.ocn.ne.jp

られました。仕事だけでなく弓道に打ち込み、バイクに乗ることを楽しみ、何よりも滋賀大生を愛した大將でした。

大將や家族によると貧乏学生にただで食べさせた事もあったとか・・・まだ回転寿司など無い時代に、それこそ千円で寿司を食べられるという学生でも気軽に入れる寿司屋として親しまれ、各クラブ、ゼミのコンパの会場としてのみならず、個人で通った学生も多かったと思います。卒業後も多くの元学生が訪れており、壁に名刺が張ってあります。それを見ると、少な



らず情報が分かるという交流の場としても機能しています。

「とりげん」は先代が鳥肉料理を扱った事による名前で、大将の代になって「すぎもと」に変更となりましたが、古い世代はそのまま「とりげん」と呼び慣わしていました。現在は寿司屋ではなく、ご家族が普通の食堂とクレープ屋さんとして営業を継続されています。建物は道路拡幅により建て直されましたが、玄関戸、テーブル等が残っており、昔のイメージそのままです。彦根を訪れる機会があれば、是非立ち寄ってください。
※大将の写真掲載はご遺族了解済み

【お知らせ】
肥後県彦根市立花町3-14
定休日：日曜日

※営業時間・定休日は、訪問前に店舗へ確認してください。

陵水会名古屋支部 支部役員

2023年4月1日現在

Table with 3 columns: 役職名, 氏名, 卒業年次. Lists branch officers including 顧問, 支部長, 副支部長, etc.

陵水会名古屋支部 本部役員

2023年4月1日現在

Table with 3 columns: 役職名, 氏名, 卒業年次. Lists headquarters officers including 副理事長, 理事長, etc.

<支部役員参考> *印は部長
組織：組織部会
広報：広報部会
総会：総会部会
学生：学生部会
若手：若手部会

陵水会名古屋支部 卒業年次別 幹事名簿

2023年4月1日現在

Table with 2 columns: 卒業年次, 氏名. Lists officers by graduation year from 高商21 to 21.

Table with 2 columns: 卒業年次, 氏名. Lists officers by graduation year from 大学22 to 33.

Table with 2 columns: 卒業年次, 氏名. Lists officers by graduation year from 大学33 to 42.

Table with 2 columns: 卒業年次, 氏名. Lists officers by graduation year from 大学43 to 66.

<参考>新任者*

陵水俳壇

自句自解

石橋政雄(大6)

幼児に振り回されて三ヶ日
年末には次女が札幌より夫と
男の子二人と共に我が家に里帰
りする。小五と小二である。普
段夫婦二人の静かな生活は、一
変する。主導権は完全に子供二
人が握り大人四人が振り回され
た三ヶ日である。

伊與正道(大6)

飽食の国のあやうさ五月闇
現在の日本は食文化全盛の時
代である。日本食はもとより、
中華、西洋の美味しい物を何時何
処でも食べられる我々は正に飽
食の時代に生きて居る。戦争の
無い平和な時代に今我々は生き、
これが当たり前の様に思っ居
るが、こんな時間は永い歴史の
中で一瞬でしかない。人間は何
時の時代でも何処かで紛争を起
こして来た。欧州でのウクライ
ナの戦いは、一年を経て解決の
様子は見られず、東では、台湾
海峡が不安である。米国は支援
をしても直接手を染めず、日本、
韓国が前面に立つ構想であろう。
日本は平和に馴れ飽食を楽しん

倉坪和久(大13)

若き日の声を偲びつ初謠
最近、病気がちで気分もかな
り落ち込んで居る。「謡曲部」
部長時代の声の張りで、朗々と
謡いたいのだが・・・

青山政弘(大17)

母の日や梅を包みし竹の皮
幼少のころ母親が柔らかい梅
を筍の皮で三角に包んだおやつ
を造ってくれました。その頃は
お菓子や飴も高く、何時も食べ
られませんでした。母親は整腸
等によいとこの思いがあったと思
いますが、孫に出したらどんな
顔をするでしょうか。

片岡嘉幸(大25)

三人の子供片付く菊日和

結婚して最初の子供(長女)
が生まれたとき、この世の幸せ
を感じた。その後二人の子がで
き、三人の子供を育てた。下の子二
人は浪人留年せずに大学を卒業
し、適齢期に結婚して孫もでき
た。しかし長女は、浪人、卒業、
就職、二つ目の大学入學、留年、
薬剤師試験も一度に受からず、
苦勞に苦勞を重ねていた。そん
な長女が昨年結婚した。親とし
てこんなにうれしい事はない。

支部総会当番幹事より

今年度2023年の幹事は大
学35回です。三村祥章、山崎博
己、畠山義一、赤川忍、三輪孝
秀を中心に担当いたします。昨
年度の参加者は71名でした。今
年度はコロナ対応が緩和されて
おり、できるだけ通常様式に近
づけて実施いたしますが、コロ
ナ感染拡大防止のため安全第一
の運営方針は継続します。多数
のご参加をお願いいたします。

第85回名古屋陵水会ゴルフコンペ
【開催日】令和4年4月6日(水)【会場】東名古屋カントリー倶楽部
桜満開のもと、最近では最も多い19名が参加されました。
優勝 陣内 純(大30) グロス 87 HD 13.2 ネット 73.8
2位 清水 一治(大9) グロス 93 HD 19.2 ネット 73.8
3位 井上 真吾(大58) グロス 73 HD 1.2 ネット 74.2
第86回名古屋陵水会ゴルフコンペ
【開催日】令和4年11月23日(水祝)【会場】森林公園ゴルフ倶楽部
参加者17名にて開催予定でしたが、生憎の激しい雨により中止。
第87回名古屋陵水会ゴルフコンペ
【開催日】令和5年4月5日(水)【会場】東名古屋カントリー倶楽部
結果は名古屋支部ホームページにてご覧ください。
次回開催 第88回名古屋陵水会ゴルフコンペ
【開催日】令和5年11月23日(木祝)【会場】未定
陵水会第14回ゴルフコンペ
【開催日】令和4年6月3日(金)【会場】彦根カントリー倶楽部
支部対抗団体戦は大阪支部が優勝、名古屋支部は4位。個人部門で
は、佐伯攻一氏(大16・大阪)が前回に続いて優勝。スコア80の稲
垣信也氏(大23・名古屋)がベストグロス賞。 片岡嘉幸(大25)

予告

2023年度 名古屋支部総会
【日時】2023年6月24日(土) 11:30より
【会場】HOTEL ルブラ王山
【講演】演題：「松坂屋の未来像」
講師：株式会社大丸松坂屋百貨店
代表取締役社長 澤田太郎 様(大31)

〔原稿募集及びご意見を！〕
皆様の原稿をお待ちしています。
※テーマ自由
「昔の支部会報」を探しています。
※第1号・15号をお持ちの方は
ご一報願います。
〔広告を募集しています〕
※ご希望の方はご一報願います。
連絡先：岸 泰志(大30)
☎ 090-3459-0523
Email tkishi@gc.commufa.jp
編集担当：広報部会
岸・城所・横井・今井・久岡
全ての記事の
全文は、陵水会
名古屋支部ホー
ムページでご覧
いただけます。

